

令和4年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

【危機管理学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和4年10月20日	CHAmmit参加者（教職員含む）にて、本部で行ったCHAmmitについて問題の洗い出しから実現に向けて意見交換を行った。

2 学部提案書の対応について

学部を「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
学内における通信環境を改善してほしい		○		eduroam（無線LANシステム）を導入し、全学生がポータルログイン方法にて接続することが出来るようになった。しかし、通信が途切れたりするのをキャンパス側でも認知しているので、改善に向けて検討していきます。
机の表面がザラザラしていて、筆記を行うのに向いていないので、出来るならば交換してほしい。			○	机を入れ替えるには、机固定教室などの工事が必要となり、工事費用が必要となります。早急な対応が不可能であるため、今後、学内でどれほど筆記講義において影響が出るかなどの調査を行い、その後、入れ替えなどについて検討します。改善されるまでは、下敷きなどを使用して対応させていただきますようお願いします。
出欠確認システムに履修していない講義科目などの出欠情報が反映されているので、改善してほしい		○		現在、教務システムの改修に向けて学内で検討を進めており、要望の改善に向けて対応中です。
広い教室でホワイトボードを使用した講義を展開しているが、後ろの席からは見えないので改善してほしい。		○		キャンパスの教室数や収容人数の関係上、やむを得ない状況で教室を配置していますが、学生の受講に支障が出ているのは把握していますので、来年度の時間割などを検討する際に、大教室に配置された科目においては、全学生が講義内容を見ることができるようプリント配布などで対応していくよう実施方法を検討します。
学生の学部要覧に記載している卒業要件科目が分かりづらく、学生の理解度が低いと感じる。		○		ガイダンス期間に教員による履修相談時間を設け、窓口では、職員が一人一人対応しています。学部要覧の見方については、教務ガイダンスなどで詳しく説明する必要があるため、ガイダンスにおける時間配分等を検討します。
講義中に学生の私語があり、教員においては講義の遅延や私語の放置があるので、学生の士気が下がらないように取り組んでほしい。		○		私語についてはしっかり教員が注意喚起を行うようにします。また、講義の遅延などについては、前の講義が質問などによることで長引いてしまったりすることがあるので、オフィスアワーなどを活用し、講義の遅延につながらないように改善していきます。
課題のフィードバックをしてほしい		○		課題提出を求めた講義においては、フィードバックを行い、学生の講義における予習復習や理解度の向上につながるよう、教員間で意識の再共有をしていきます。
窓口に行った際に、職員が忙しそうで質問しづらい		○		通常業務に加えて、より多くの学生に対応するため事務的な対応となつてしまっていますが、職員間で連携をして学生にとって相談しやすい環境づくりを進めていきます。
他学部の講義の受講制度を整えてほしい		○		現在、日本大学の相互履修制度を整えている最中です。令和5年度より相互履修が可能となりますので、履修を考えている場合には教学サポート課窓口にて相談をしてください。

※令和5年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

3 危機管理学部から学生へのメッセージ

FDチャミットは、学部生の皆さんと教員、職員と一緒に学部をよくする貴重な機会です。参加してくれた学生の皆さん、教職員の皆さんに感謝申し上げます。今回のFDチャミットも、貴重な意見を伺うことが出来ました。引き続き在学生の皆さんにとって魅力ある学部となるため教職員一丸となって尽力します。学生の皆さんもご協力下さい。FDチャミットに参加してくれた学生の皆さんは、是非今回の経験を皆さんの周りの学生に一人でも多く伝えて下さい。宜しくお願いします。
--